

“未来につながる夏休みに”

校長 渡辺 宏

平成29年度の第1学期の終業式を無事迎えることができました。ありがとうございました。

ニュースでは、中学生がいじめを苦にして自らの命を絶つ報道が後を絶たず、学校関係者や保護者、また、生徒たちはとても大きな衝撃を受けています。

杉並区では、いじめ防止対策として、家庭・地域・関係機関と連携して、教育委員会が主体的に取り組んできました。重大な事態が発生した場合には、「杉並区立学校いじめ問題調査委員会」を設置し、対応してきましたが、平成29年3月に策定された国の「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」において、公正性・中立性を確保するため、教育委員会の附属機関として、平成29年7月に「杉並区いじめ問題対策委員会」を設置いたしました。（この結果、「杉並区立学校いじめ問題調査委員会」は廃止することになりました。）このような現実と向き合いながら、「安心した社会で生活することの難しさや命の大切さをどのように守っていけばよいのか」改めて考えさせられます。



また、インターネットや携帯電話のサイト、「LINE」や「Twitter」などのSNSのアプリや電子メール等を利用して起きる事件も後を絶ちません。相手に脅かされたり思わぬ犯罪に巻き込まれ、被害者のみならず、加害者となる可能性もあります。前途ある若者の将来が、希望に満ちた未来となるためにも、情報モラルに対する正しい知識と判断力をしっかりもつことが大切です。

本校は平成28年10月より地域運営学校としてスタートしました。今年度は、教職員及び学校運営協議会委員の皆さまと協働についての在り方を深めたり、本校の教育活動について理解し合う機会を多くもつように推進しております。これまで、4月より定例の運営協議会を4回実施し、6月には運動会をご覧いただきました。その計画の中で、7月12日（水）は地域運営学校を推進するための研修会として、文部科学省 国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部 統括研究官の植田みどり先生を講師に、教職員・学校運営協議会委員・学校支援本部の合同研修会を実施いたしました。

植田先生より、杉並区の地域運営学校における学校運営協議会の役割や杉並和泉学園での“熟議（協働を目指した対話）”の取り組みの紹介など、短い時間でしたが大変に濃い内容のご講義をいただき、ワークショップへの道筋を導かれ、今後の在り方をご示唆いただきました。これからの生徒たちの学校生活の高揚に生かしていかななくてはならない責任を痛感いたしました。

いよいよ夏休みです。学校で過ごすことが中心であった生活は、家庭が中心となるこの長い時間。家族また地域など、生活のベースとなる環境においても、学校生活と同じように、自らの立場を考え、協力し合って充実した時間を計画的に過ごして欲しいと願います。さらに、自由に使える時間が多くなりますので、これまで以上に主体的に行動する時間を増やし、自己を高める学びにチャレンジし、さらなる飛躍をめざし、新学期の生活につなげましょう。健康や安全に十分注意して、事故やトラブルに巻き込まれないように過ごせますよう、ご家庭や地域の皆さま、ご支援・ご協力をよろしく願います。

2学期の始業式、元気な姿で会えることを楽しみにしています。

“食育”の授業として、杉並の農業について学びました！！

日 時：7月12日（水）11時45分～12時35分

会 場：3年学習室

講 師：NPO法人

全国農業体験農園協会 会員 今川農業体験農園 星野智彦氏

1年生は“食育”の授業として、NPO法人全国農業体験農園協会 会員 今川農業体験農園 星野智彦氏を講師に、自分たちの住んでいる杉並区の農業について学びました。

農業体験農園とは、杉並区の支援を受けて農業主が開設し、経営・管理する農園のことです。農業主の指導を受けながら、作付けから収穫までの農作業を体験できるので初心者の方でも安心して作業できるとのことでした。

杉並区は東京都23区において農地面積は44.74ha（区面積の1.31%）第5番目の広さであり、農家戸数は146戸です。主な生産物として、野菜では①ダイコン②トマト③ナス、果樹では①柿②③キウイフルーツと栗が同数とのことでした。学校の給食でも地元野菜デーと称して、献立に区内で生産された野菜を使ったメニューが出ることがありますので、これからも地元の産業にも関心を高め、杉並の区民としての自覚を深めていってほしいと思います。

第67回“社会を明るくする運動” 駅頭広報活動に協力しました！！

日 時：7月6日（火）16時30分～

会 場：西武新宿線下井草駅周辺

参加生徒：1年生4名、2年生4名、3年生12名 合計20名

7月6日（火）16時30分～17時30分まで、西武新宿線下井草駅付近において、「社会を明るくする運動」の駅頭広報活動に、総勢20名の生徒が放課後、ボランティアとして駅頭広報活動に協力してくれました。襷を掛け、広報活動としてティッシュペーパーを街ゆく人々に配りました。

この広報活動に中学生が参加するようになったのは平成18年です。当時1校からスタートボランティア活動が、今や中学校23校と小学生も参加するようになり、年々児童・生徒の意識が高まっています。自分たちが住む町の犯罪を減らすために、若い世代が協力して活動する基盤が広がり、安心して生活できる環境づくりに貢献することは、地域の後継者として大変たのもしい姿です。

なお、7月17日（月）セッション杉並において「SUGINAMIひまわりフェスタ」が開催され、その中で参加協力した学校に感謝状贈呈式が行われます。本校は5名の生徒が出席する予定です

“すぎなみ小・中学生未来サミット”

日 時：7月29日（土）13時30分～16時30分

会 場：セッション杉並 東京メトロ丸の内線 東高円寺駅 下車徒歩5分

第1部

プレゼンテーション（壇上）全校の取り組みについて発表を行います

第2部

パネルディスカッション（壇上・客席）意見交換会（話し合い）を行います

ゲスト：荻上チキ氏 評論家 編集者 特定非営利活動法人「ストップいじめ！ナビ」代表理事